

私たち誰でも犯罪の被害に遭う可能性があります。
身近な問題として考えてみませんか。

支援の輪を広げる

つどい 2018

福島県被害者等支援連絡協議会20年を迎えて

2018
11/17 開場/13:30 **会場** **杉妻会館**
(土) 開演/13:40 福島市

開会あいさつ

- 第一部** 「命の大切さを学ぶ授業」作文コンクール表彰式
- 第二部** 基調講演「地域での被害者支援を考える」青木聡子氏
- 第三部** 支援ミニコンサート アンサンブルGOLIs

福島県被害者等支援連絡協議会総会

福島県警察／公益社団法人ふくしま被害者支援センター／福島県

【後援】福島県教育委員会／福島県被害者等支援連絡協議会
福島市／福島市教育委員会



会場に駐車場はありませんので、公共交通機関か
県庁外来駐車場をご利用ください。

「命の大切さを学ぶ授業」 作文コンクール表彰

「命の大切さを学ぶ授業」は、県警察が「被害者に優しいふくしまの風運動」の主要事業である被害者に優しい人づくり事業の一環として平成21年度から実施しているものです。県内の中学・高校生を対象に、犯罪や交通事故の被害者遺族等による講演を行うもので、被害者等に対する理解と共感の醸成、命を大切にする気持ち、加害者や被害者も出さないという規範意識の涵養などに大きな効果を上げています。

この「命の大切さを学ぶ授業」を受講した生徒の作文を、県警本部・県教育委員会・ふくしま被害者支援センターがそれぞれ審査し、優秀者を表彰するものです。



基 調 講 演

NPO法人犯罪被害当事者ネットワーク「緒あしす」代表 青木 聡子氏

1996年7月、名古屋市において、窃盗目的で侵入した男にご両親が包丁で刺殺されました。検察側は死刑を求刑しましたが、2002年5月名古屋高裁は、被告が覚せい剤を使用していたことを理由に、「被告は殺害事件当時“心身耗弱状態”であった」として無期懲役を言い渡した一審判決を支持、検察側は上告せず、刑は確定しました。

現在は「NPO法人犯罪被害当事者ネットワーク緒あしす」の代表として、犯罪被害者の各種支援を行うとともに、犯罪被害者を社会全体でサポートできる環境づくりに寄与されています。

支援ミニコンサート

アンサンブルGOLIs

2010年結成。

木管アンサンブルを中心とした編成で、福島市を中心に演奏活動を行っております。これまで、子どもから年配の方までが親しめる演奏会をモットーとして、保育園、介護施設やフリーマーケットイベント等での演奏を行ってきました。また、コンクールにも出場し、楽団としての研鑽を重ねています。



【被害者に優しいふくしまの風運動】

新聞やテレビで毎日のように報道されている事件や事故。決して他人事ではなく、私たち誰しもが被害者となり得ます。一人ひとりが身近な問題として犯罪被害について考え、地域社会全体で犯罪被害者の方々を支えていくことが大切です。

そのために、犯罪被害者の苦しみや悲しみ、地域における被害者支援の必要性や重要性を理解し、1日でも早く再び平穏な生活を取り戻していただけるよう、被害者に優しい風、すなわち被害者支援の気運を県内くまなく吹かせ、犯罪や事故のない安全で安心なふくしまを築こうとする本県独自の運動を推進しています。

【犯罪被害者週間】

毎年11月25日から12月1日までの1週間は「犯罪被害者週間」です。

被害者の方々のための施策をさらに推進するために策定された「犯罪被害者等基本計画」において、この期間に集中的に啓発事業を実施することで被害者の方々の現状や被害者支援の重要性等を皆さんに知っていただき、理解を深めていただくことを目的に定められました。被害者の方は、どんなことを感じているのでしょうか。もし、身近に被害者の方がいらしたらどう接したらいいのか、自分自身で何ができるのか、一緒に考えてみませんか。